

静岡市の平成22年度予算が決定しました!!

拝復 ますますご健勝のことお慶び申し上げます。

日頃は、私、さち茂人に対しまして、並々ならぬご支援を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は、国の政権交代による大きな時代の変化がありました。これから、法律の改正や制度改正が多くされることになるかと思いますが、静岡市は時代に先立ち、変化に対応した市政を行っていただけるように、私も含め、日々研鑽を積んでおります。

ところで、静岡市の平成22年度当初(4月からの1年間)予算が決定しました。社会の経済状況が厳しいことにより、個人市民税約40億円、法人市民税約20億円と大きく減少する見込みであります。また、社会保障関係経費の自然増や公債費(借金の返済)が多くあること等、財源の不足が過去最大規模に拡大することと、投資的予算は約100億円減少することとであります。

このような状況の中ではありますが、昨年度が第1次総合計画最終年度ということもあり、大きな事業の完成も今年も多くあります。例えば、紺屋町再開発ビル内の静岡市立美術館、新登呂遺跡博物館、日本平動物園の猛獣館(通称:につきゅっきゅー)などです。「子どもからお年寄りまでが市内でお金をあまり使わずとも楽しく過ごせる機会をもっと作りたい、こんな時代でも夢のある元気になるまちであるように、願ってやみません。」

今年度の一般会計予算は、2,667億円で昨年度より153億円の減ですが、皆様から頂いた大切な税金をしっかりと有効に活用できるように市議会議員の一員として、チェック機能を果たしていきたいと思っております。また、今年度はさらに「もう必要ないのではないか、やめたらどうか」という事業に対して、積極的に選別していく所存であります。

「さち君、まだまだ、活動が不十分、もっともっと頑張れ、民間は厳しいぞ」等と励ましの言葉を頂き、もっと身を引き締めて(体が太ってきたので併せて体も引き締めたいと思うこの頃)活動をせねばという思いであります。まだまだ若輩者であります。皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げ、年度当初の挨拶とさせていただきます。

敬具

今年度予算は「子育て・子育て支援事業」に注目です!!

「しずおか☆未来をひらく子どもプラン」スタートです。

静岡市の独自性が期待されます。

- ①静岡市待機児童センター(保育園の待機児童の解消)
- ②「子どもクリエイティブランド」の整備
- ③子育て世帯への優先宅地分譲事業
- ④子育て世帯住宅購入資金利子補給制度

③は、市営住宅の跡地を子育て世帯に分譲します。

④は、昨年度の子育て支援策調査特別委員会(さち茂人委員長)で提案した事業の1つで政策実現しました。子どものいる家庭が家を新築、また、分譲マンションを購入する時に借りる資金の利息を市が面倒をみるという制度で県内初です。20名の募集なのでお早めに…



11月定例議会でのさち茂人は

総括質問では

①発達障害と特別支援教育について

発達障害者支援センター「きらり」の相談件数が増えている状況を説明し、センターの機能拡大と個別支援策の連携について質問しました。また、特別支援教育では、新しい施設(一番町小学校あと)の活用状況と発達障害との連携について質問し、生涯を通しての個別支援プランの作成の必要性を論じました。…今年度の予算では「きらり」特別支援教育センター共に人的配置の拡大がなされました。

②消防の広域化とデジタル無線整備、消防本部と石田消防署の建設について

消防を広域化し、島田市・川根本町・牧之原市・吉田町が静岡市と一体となった消防組織になる。消防救急無線は平成28年5月までにデジタル化すること。私の地元建設される消防本部と石田消防署については、4階建て程度で地域や子どもたちも見学に来られる設備を備えること。また、消防広場は多角的に活用できる旨の答弁を頂きました。

9月定例議会でのさち茂人は

総括質問では

①静岡市下水道ビジョンについて

下水道の借金が非常に多いこと、また、これからの設備投資予定について見直しが必要ではないか、しっかりとした計画性を持ってやって頂くように質問しました。

②もったいない運動について

食べ残しについて指摘し、「ドギーバック」の使用を静岡市で進めるべきであると提案しました。(ドギーバック)とは、ホテルや居酒屋等での食べ残しを、タッパ等の箱に入れて持って帰る道具のことです。

③静岡市のシティセールスについて

「フィルムコミッション」(映画やドラマの誘致)の静岡市の取り組みについて質問し、等身大ガンダムの誘致について提案しました。…念願が叶って実現しました。

静岡の平和を守る人々

選挙が終わって1年がたちました。さち君の活動はどうですか？

早いもので、残り任期もあと3年です。平成21年度は、地元のごときは当然力を尽くしてきましたが、全体では特に教育に力を入れてきました。学力向上について、先生の採用のこと、学校施設のこと、特別支援教育のこと、そして高校再編成のこと…議会を取り上げ、将来について話し合ってきました。

子どものごほうびに聞かされたら、頑張りたく欲しいね。静岡に住んで、夢を持って、感性豊かに成長する子どもたち、そして、力強く生きていける能力も身につけて欲しいと思うよ。世の中が、少しだけ分かってきただけに、僕ももっと勉強しなくてはならないと、常に感じていきます。

夢って言えば、君のご子やご孫たちの夢って聞いたらいい？

将来の夢というが、職業ではまだ明確に持っている子どもはいないと思っけど…うちの5番目の子でれんちゃんも4月に小学生になるんだけど、消防士になるって言うてるよ。火の中に入って死んじゃうって言うて、さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

さっさとやめようって言うて…

あと、ハリコプターがあるんじゃないか？

そうそう、静岡市自衛隊の赤いハリコプター「カワセミ」はお値段が、1式12億1700万円。平成22年度は維持経費等で8530万円の予算となっている。カワセミの最大搭載人数は15人、運転手が3名で整備士が2名、常時働いている。最近の活躍では、梅ヶ島の赤坂地区の林野火災で出動し、中からの消火作業を行った。また、清水の海浜地区から30メートル下の河原へ落下した負傷者を県立総合病院へ搬送したことが記憶に残っているよ。3055日中無休で、夜間も基本的に出勤しないことになっている。

なるほどね。航空隊は頼りになるんだ。

一般の消防員もすぐ頼りになるんだ。消防士の仕事はまるまる24時間勤務なんだ。勤務体制は、当直・非番・当直・非番・当直・非番・週休・週休と言った休みが多いように見えるけど、24時間勤務は体力的にも大変なんだ。市民からの連絡を受け取る通信指令は3部制になっている。それで、静岡市の誇る「SOSR」の存在はぜひ知ってもらいたい。

何だい？「SOSR」って？

うん。「SOSR」は「スーパーレスキュー」の略称なんだけど、特別高度救助隊っていう、他市ではハイパーレスキューって言われる、特別な高度救助器具を持っている部隊なんだ。平成22年から君の住むまちの千代田署に配属される。大規模な特殊災害や東海地震等における防災体制の強化のため、専門的で高度な技術を有する隊員で構成されている。

ほう、活躍を見てみたいね。

いや、災害はない方がいいから。訓練は見てもいいけど、それから、特別救助隊が60名いて、追手・石田・清水・庵原の各署に配属されているんだ。また、救助隊は14名で1隊が清水署に配属、その他、山岳救助隊1隊18名、水難救助隊2隊26名があるんだ。

何か頼もしい限りだね。何かあった時のために、日頃から厳しい訓練をしているんだろ？

そうだよ。特別な隊以外のすべての消防員も日頃から自己管理と日々の鍛錬に努めているんだ。

消防団はこうなっているんだい？

消防団は「自らの町は自ら守る」を合言葉に、地域住民の安全・安心を守るという重要な役割を持っているんだ。市長が「消防団は究極のボランティア」とよく言っている。まさに命系統から訓練からしっかりと機能された団体だね。平成21年度で2814名の団員がある。その中で40名の女性団員もいるんだ。組織は静岡地区と清水地区と庵原地区に分かれていて、全体を1人の団長が取りまとめている。市域を16か所に分け、16方面隊で65分回で構成しているんだ。

活動は、どうなっているんだい？

消防団は、日々の消火訓練と地域の火災消火が主で、その他、防災活動も最近では救急分野で応急手当の普及や資格などについても盛んになってきている。AED（自動体外式心動機）っていう心臓にショックを与える道具の活用とか…

3か所の病院に連絡すれば、9割以上の病院が引き受けてくれるそうだ。精神科からの患者の搬送が医師の診断が難しいこともあって、困っていることと、また、他市では話し合いがされているんだけど、ちょっとしたことでも救急車を呼ぶ人たちが増えている状況の中、今後は救急車の有料化も検討が必要になるかもしれない。例えば、診察の結果、救急車の利用が軽率ではなかったか？という利用に関しては、搬送料金をもらうこと…

なに振りかまわず、救急車を呼んじゃあ、本当に必要な患者の搬送が間に合わない。僕は賛成だね。

そうだね。これからますます救急車の利用は増えるだろうし、ほくちも救急車を呼ぶ時に患者の症状を観察し連絡する能力も求められてくるのがもしない。

れんちゃんがたくましくなって、消防員になって、僕らを守ってくれる日が来るといいね、本当…



今月の佐地くん
第4回マビック書道展授賞式

編集後記

昨年の選挙から早いもので一年が経ち、3期目の佐地くんの任期も4分の1が過ぎようとしています。

昨年度は国民の期待を一身に背負い民主党が躍進し、16年ぶりの政権交代と言う事で佐地くんには申し訳ないが、自民党にとって暗い年でした。(佐地くんの前では言えないが、私も民主党には期待していました。)

しかしフタを開けてみれば、なんともお粗末な・・・こんな事なら、やはり自民党の方が良かったと私は思います。(これは佐地くんの前で言おう！)

ただ、そんな自民党もココに来て分裂！？、いったいこれから日本はどうなってしまうのでしょうか？

佐地くん！ どうにかしてよ！！

平成22年4月吉日発行
発行責任者：林 稔久
編集担当：上條、小泉、島村、田中
静岡市八幡5丁目14-13
TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096